

【草花の部屋】

マンデビラ(キョウチクトウ科マンデビラ属 Mandevilla)

和名： 別名：デプラデニア、チリソケイ

英名：

リンドウ目 熱帯植物、常緑つる性植物

原産地：中南米

花言葉： 固い友情、情熱、危険な恋、 花の色： 白、桃、赤



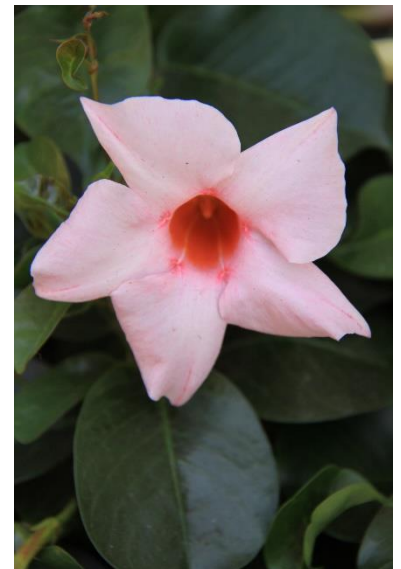
← 写真-1

マンデビラ～サンパラソル・トロピカル・ピーチ
(Mandevilla ‘Sun Parasol Tropical Peach’)

撮影日：2015年07月11日

撮影場所：チェルヴィニア(イタリア)にて

撮影者：M さん



→ 写真-2

マンデビラ～サンパラソル・トロピカル・ピーチ

撮影日：2015年07月11日

撮影場所：チェルヴィニア(イタリア)にて

撮影者：M さん

北イタリア、マッターホルン(モンテ・チェルヴィーノ)山麓の街チェルヴィニアで見かけました。住宅の前に、プランターで・・・帰国後、調べてみると熱帯性の植物だとか・・・冬は雪に閉ざされるチェルヴィニア・・・冬場は家の中なのではないでしょうか？

写真3、4は、母の日にいただいた花。最近、バイオテクノロジーを利用した品種が多くなっているようで、どうやら、本種もその仲間のようにです。



← 写真-3

マンデビラ～サンパラソル・トロピカル・ピーチ

撮影日：2016年05月10日

撮影場所：大和郡山市 M邸にて

撮影者：M さん

→ 写真-4

マンデビラ～サンパラソル・トロピカル・ピーチ

撮影日：2016年05月10日

撮影場所：大和郡山市 M邸にて

撮影者：M さん



<ちょっと一言>

以下の品種があるそうです

- ・マンデビラ・サンデリ (Mandevilla sanderi)

以前から出回っていた原種で、小型の鉢物として流通。寒さに強くて開花期間が長く、室内の暖かい場所では冬でも開花。

- ・サマードレス (Mandevilla boliviensis)

白花の原種ボリビエンスで、サマードレスは流通名。大輪種ほどつるの伸びは早くないので、剪定方法によっては支柱なしで楽しめる。

- ・ホワイト・デライト (Mandevilla ‘White Delight’)

大輪でつるがよく伸びるタイプで、花色が薄いピンクから白へと変化する。

- ・ローズ・ジャイアント (Mandevilla ‘Rose Giant’)

以前から出回っていた品種。つるがよく伸び、大輪の人目を引くピンクの花が長期間よく咲く。

- ・サン・パラソル・トロピカル・ピーチ’

(Mandevilla ‘Sun Parasol Tropical Peach’)

花色はピンクで、大輪でつるがよく伸びるタイプほど花は大きくないが、花つきがよく、次々と連続して開花する。